

「今」「ここ」

から

国：日本国憲法・教育関連法 東京都：東京都の教育施策大綱・東京都教育ビジョン第5次
 江東区：江東区子どもの権利に関する条例 令和8年度のテーマ「みんなかがやく」「ともに」

学校教育目標：○学びつづける子 ○みとめあう子 ○たくましい子

【成長】

学び手としての成長（個人）

- ・自己を見つめ、適切な目標設定ができる能力の育成
- ・成長のプロセスに目を向け、工夫改善できる児童の育成
- ・獲得した「学び」の活用を促進する働きかけや場の設定

集団としての成長（学級・学年・学校）

- ・現状を共有し、共通の目標をもつ集団の育成
- ・主体的に問題解決・改善に関わろうとする態度の育成
- ・集団で取り組む学習、行事の充実、経験の蓄積

常に現状に正対する。「よい」「悪い」ではなく、逃れようのない「今」「ここ」を受け入れる。自分を、自分たちを、正しく見つめれば、「何をすべきか」が見えてくる。学校も、家庭も、地域も、大人も、子どもも、気負わず、悲観せず、次の未来の出発点としての「今」「ここ」から見えてくる未来に向けて、今日も一歩を踏み出す。「千里の道も一歩から」、その一歩で次の一歩が見えてくる。先が見えない時こそ「今」「ここ」に目を向ける。焦らず、弛まず、勇気をもって、笑顔で、堂々と…

《「今」「ここ」を見つめる視点・例》

子ども・保護者・地域・教員・職員
 学習・授業・校内生活・校外生活
 体・心・性格・立場・思考・環境
 制度・規則・礼儀・主体性・創造性
 歴史・経緯・背景・関係・時期・時間

【安全と安心】

生活の安全と安心

- ・ルールとマナーを主体的に考え行動する児童の育成
- ・地域や行政と連携した施設・設備・周辺環境の整備
- ・多様な文化や生き方、個性を尊重する態度の育成

学びの安全と安心

- ・ICT・情報機器の計画的な整備、教材教具の工夫
- ・「教育環境」としての教職員の意識の維持・向上
- ・違いを受け入れ、互いの成長を願う関係性の構築

《「未来」を見つめる視点・例》

学び手としての成長・学力向上・心の成長・学びの活用・目標達成の喜び・個人の目標・集団の目標
 必要感・有用感・集団への貢献・生活習慣・健康
 安心・安全・得すること・損すること・リスク
 ミス・ハプニング・可能性・価値・創造・先の未来

【心身の健康】

心の健康

- ・心が通い合う授業、心が通い合う学校生活の推進
- ・学校と家庭の連携による、心の把握とケア
- ・問題を解決する経験の蓄積による、前向きで強い心の育成

体の健康

- ・学校と家庭との連携による、基本的な生活習慣の確立
- ・運動・体験活動の充実による体力・運動能力の向上
- ・給食・各教科の指導による食（文化）への興味・関心の強化

「今」を生きる者には、常に「未来」がある。すぐ近くの「未来」、少し先の「未来」、遙か遠くの「未来」。どの未来も「今」「ここ」から変えることができる。目指すことができる。そう思えば「今」ほど幸せで、希望にあふれる時はない。だから多少困難なことにも、一見不可能なことにも、明るい未来を思い描いて挑戦をする。失敗を恐れる必要はない。失敗の先には、必ず次の新しい未来が見える。自分の未来、学級の未来、学校の未来、家庭の未来、地域の未来、私たちは共に未来を目指す。

教職員の働き方：○サービスの厳正 ○ワークライフバランスの向上 ○指導力向上

「未来」へ